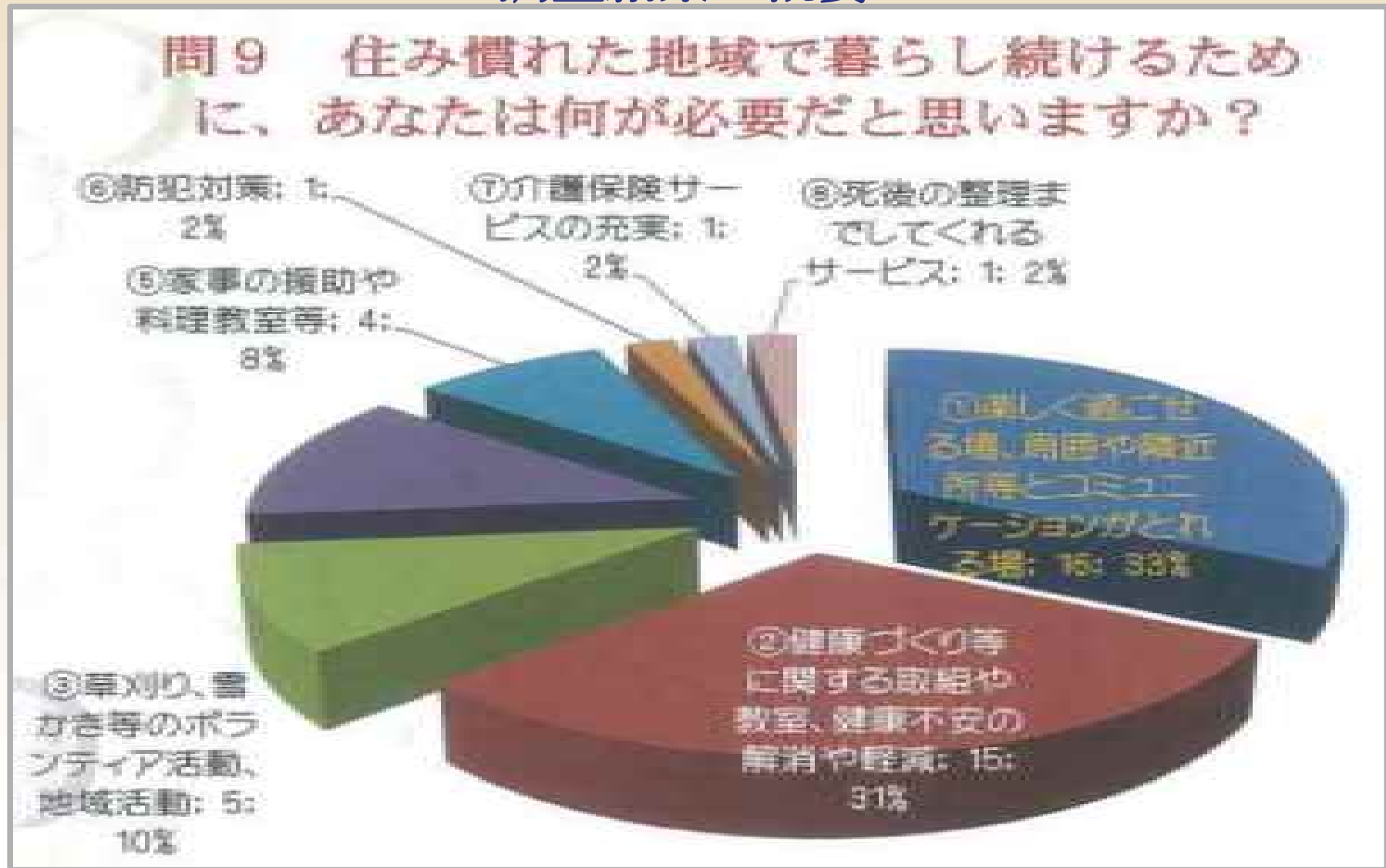


4 地域ニーズ調査アンケートの実施

※2014年 5月:アンケート調査(5月~7月で実施、集計)

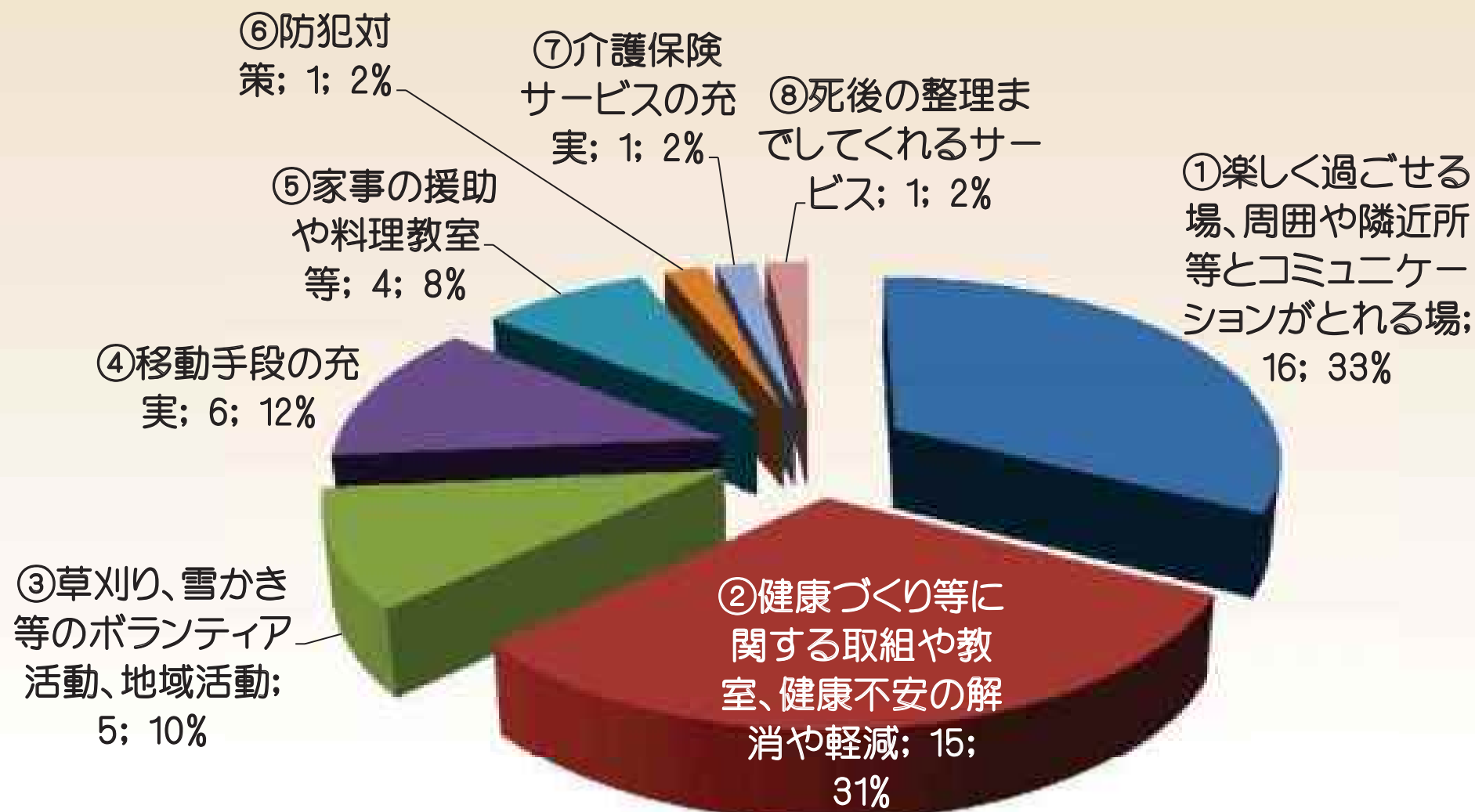
(対象者:生きがいデイ利用者65名)

調査結果の概要



【集計結果】

地域に「交流の場・楽しく集まれる場所」「健康づくり等の取組み」「コミュニケーションが取れる場所」「居場所」(地域拠点)がほしい。



5 社会福祉法人函館緑花会の考え方

I 高齢者及び地域住民が、可能な限り住み慣れた街で最後まで尊厳をもって、互いに楽しみ、支え合って暮らし続けることができるよう、地域の交流の拠点となる場を提供し、地域の皆様が気軽に集い、語り、新しい自分の発見や社会的役割の発見を通して生きがいをもって暮らしていけるよう取り組む。

「函館緑花会 地域交流事業 事業計画」より

II 社会法人として社会や地域のニーズへ還元することが求められる主な内容

- 1 地域住民のサロンや生涯学習会を実施し、地域交流促進の場を提供
- 2 低所得高齢者の居住の確保に関する支援
- 3 複数法人の連携による福祉人材の育成、災害時要支援者への支援
- 4 生活困窮者に対する相談支援、一時的な居住等の支援の実施、就労訓練事業（中間的就労）や社会参加活動の実施
- 5 生活保護世帯や生計困難者等に対する介護保険の利用者負担軽減及び子どもの生活・教育支援

「社会福祉法人の在り方等に関する検討会【平成26年6月】」より



(1) 地域ふれあい食堂いこい事業計画

1 基本方針

地域における高齢化の進展、独居高齢者や高齢者のみの世帯の増加、社会を支える子供の減少という社会構造の中、この地域に暮らす高齢者や地域住民のニーズを踏まえ、可能な限り住み慣れた街で最後まで尊厳をもって自分らしく、互いに楽しみ、支えあって暮らし続けられるよう、地域で交流ができる憩いの場を提供し、人々が気軽に立ち寄り、語らい、くつろぎ、交流を図ることで、生きがいをもって暮らし、社会参加できるよう支援する。*定款の公益事業：「ふれあい食堂いこい」を盛り込む)

2 目的(食を核としたコミュニティ支援)

- (1) 地域の高齢者や住民が気軽に立ち寄り、食を通して語らい、交流を深め、地域の茶の間としての憩いの場を提供することで、閉じこもり等をなくし、地域で支えあい、助け合う体制づくりを目指す。
- (2) 食を通じた語らいや交流を通じて、抱えている課題やニーズに対して、相談を受け付け、必要となる支援サービスや介護保険サービスへ繋ぐ。
- (3) 食を通じた交流と併せ、交流スペースでの地域貢献サロン事業、健康教室や体操教室等の開催、町内会や老人クラブ等の各種団体へのスペースの貸し出し等地域の交流センターとして利用してもらう。

3 運営スタッフ体制

- (1) 核となるコーディネーター⇒地域の生産者やボランティア、行政、町内会、老人クラブ、施設関係者等との連絡調整等を行う
- (2) 地域のボランティア(有償・無償)⇒調理を担当する人2名、フロアやレジ等を担当する人1名、それぞれの得意分野を活用していく。将来的にはふじの学園を含めた共生型を視野に活動する。

～略～

(2) 参加協働型の「ふれあい食堂」の開設へ

※地域包括ケアシステムの考え方や地域課題抽出アンケートの集計結果をもとに、コミレス(地域食堂)機能*注に、次の3つの機能を付与した拠点をつくる!

- 1 コミレス機能を活用した地域包括ケアシステムの拠点(集いの場)づくり
*①ふれあい食堂「いこい」食事提供(週月水金の3日営業、30食限定)
②喫茶(週月～金の5日営業、コーヒーのみ)
- 2 相談機能: 専門職(介護支援専門員)を配置し、様々な相談に応じる
- 3 地域交流機能: 各種団体との協力、地域住民が参加できる場所

(3) 開設スケジュール

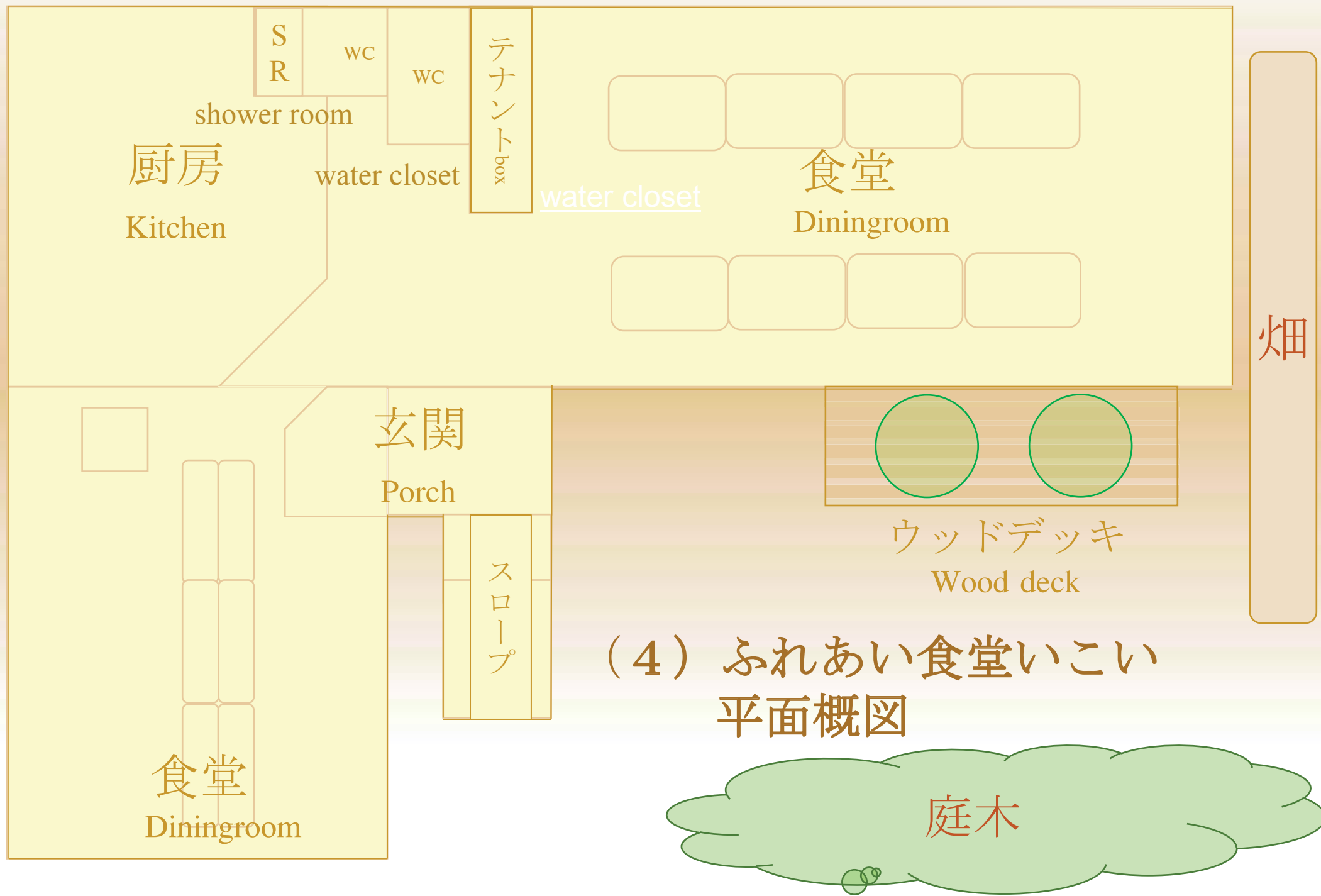
- ①2014年9月: 物件を探す。中古物件を購入
- ②2014年10月: 中古別件の修繕(11月下旬まで)
- ③2014年12月: 備品の選定ほか
- ④2015年1月: 備品納品、ボランティアの募集
- ⑤2015年2月: 第1～第2週でボランティアと試行
- ⑥2015年2月: 16日内覧会、18日オープン

*注: コミレスの5つの機能

- (1) 人材養成機能: 社会参加等
- (2) 生活支援センター機能: 子育て支援、閉じこもり防止
- (3) 自立生活支援機能: 健康づくり、住み慣れた地域で暮らし続ける
- (4) コミュニティセンター機能: サロン、季節行事、学童、各種教室など
- (5) 循環型まちづくり機能: 地産地消など

参考: NPO研修・情報センター

代表理事 世古一穂さんが提唱





カラーコーディネーター外崎由香(北海道カラーデザインラボ代表)さんが新しい写真3枚を追加しました

— 場所: 北海道 北斗市

3月6日・編集済み

地域ふれあいの新拠点「ふれあい食堂いこい」さん。
先日、北斗市での講演会の際にお昼ご飯を頂いた場所です。
こちらは一般的な食堂ではなく、
地域のコミュニティサロンとして活動を始めました。
社会福祉法人函館緑花会さんが空き家をリフォームし、
運営しています。

この日はオープン3回目でしたが、
たくさんの方で大賑わいでした！！
美味しいご飯を作ってくれるのは、
ボランティアで地元のお母さん方3人。
メニューは、三平汁、揚げ出し豆腐、ご飯、
香の物で…なんと300円！！
完食しました、(^o^)

このように集える場所があること、バックアップがしっかりしていること、
そして何より地元の方が主役なのが素敵です★

きっとこれからは、人生の先輩方がそれぞれ特技の披露目会、
お互いが先生生徒役になるイベント、世代を超えた交流も盛んになるの
でしょうね。

※表札も「いこい」なのが私的にツボ(*^.^*)



投稿者ご本人から
転用使用許可済
(写真位置のみ編集)